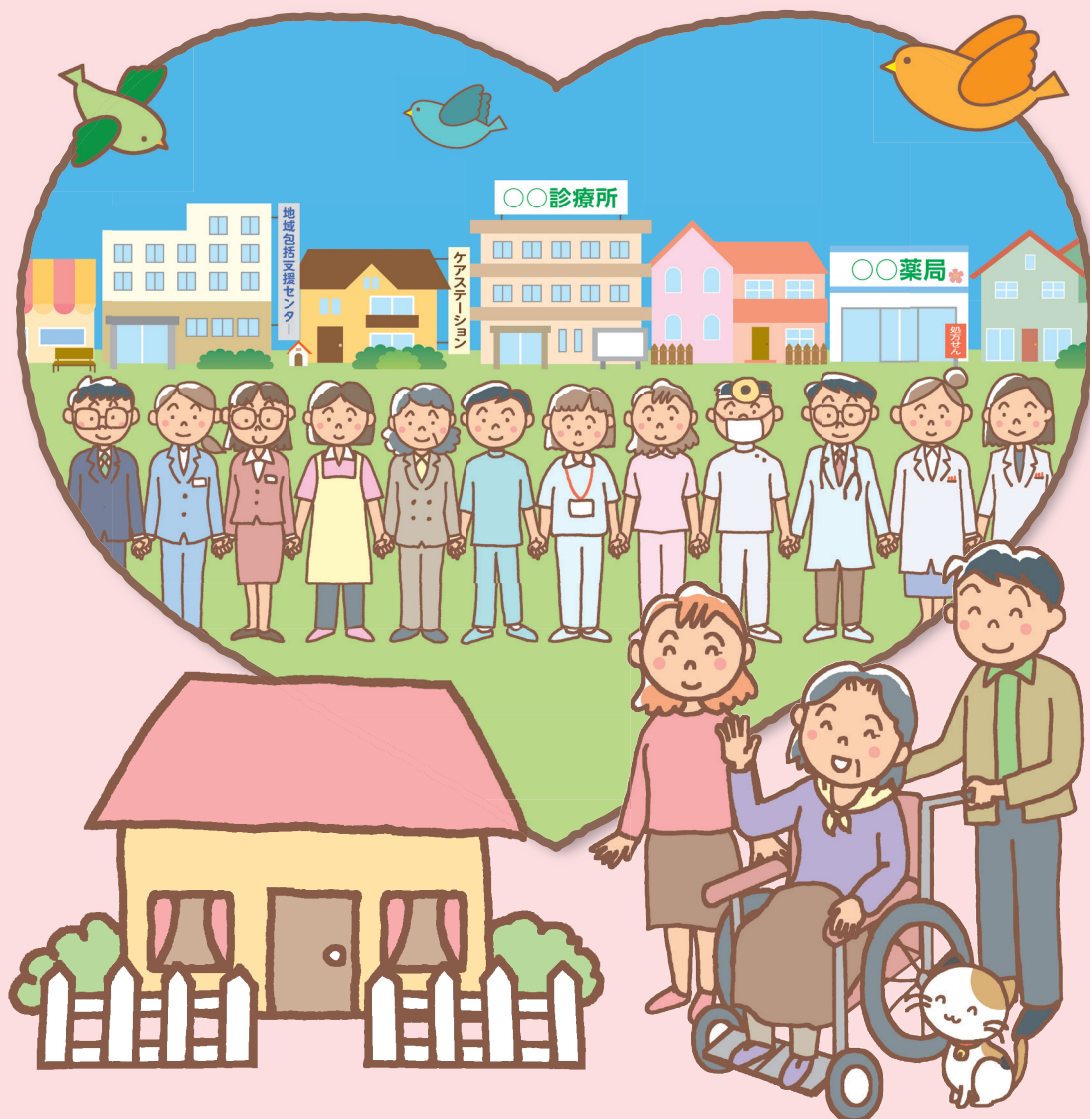


住み慣れた地域で、いつまでも 自分らしく暮らし続けるために

尼崎市在宅療養ハンドブック

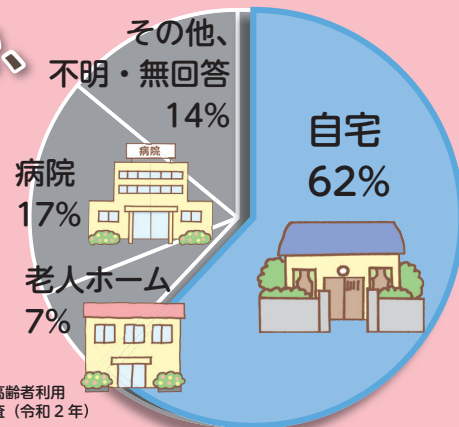
概要版



あなたは、医療や介護が必要になったとき、
どこでどのように過ごしたいですか？

約 6 割の方が「自宅」で過ごしたいと
回答しました。

その場合、「在宅療養」という
選択肢があります。



第1章 在宅療養を知る

●在宅療養ってご存じですか？

通院ができなくなっても、医師や看護師、ホームヘルパーなどが住み慣れた場所を訪問し、医療や介護のサービスを受ける『在宅療養』という選択肢があります。



●在宅療養を支えるさまざまな職種

医療や介護の専門職種が、ご本人とご家族の希望を伺いながら、必要なケア(医療や介護)を組み立て、サポートにあたります。



第2章 人生最期のときをどのように迎えるか

●自分らしい暮らしを続けるために考えておきたいこともしものときのことを、自分の望む形をイメージしてみましょう。

どこで？

たとえば…

- おうち
- 病院
- 介護施設

誰に？

たとえば…

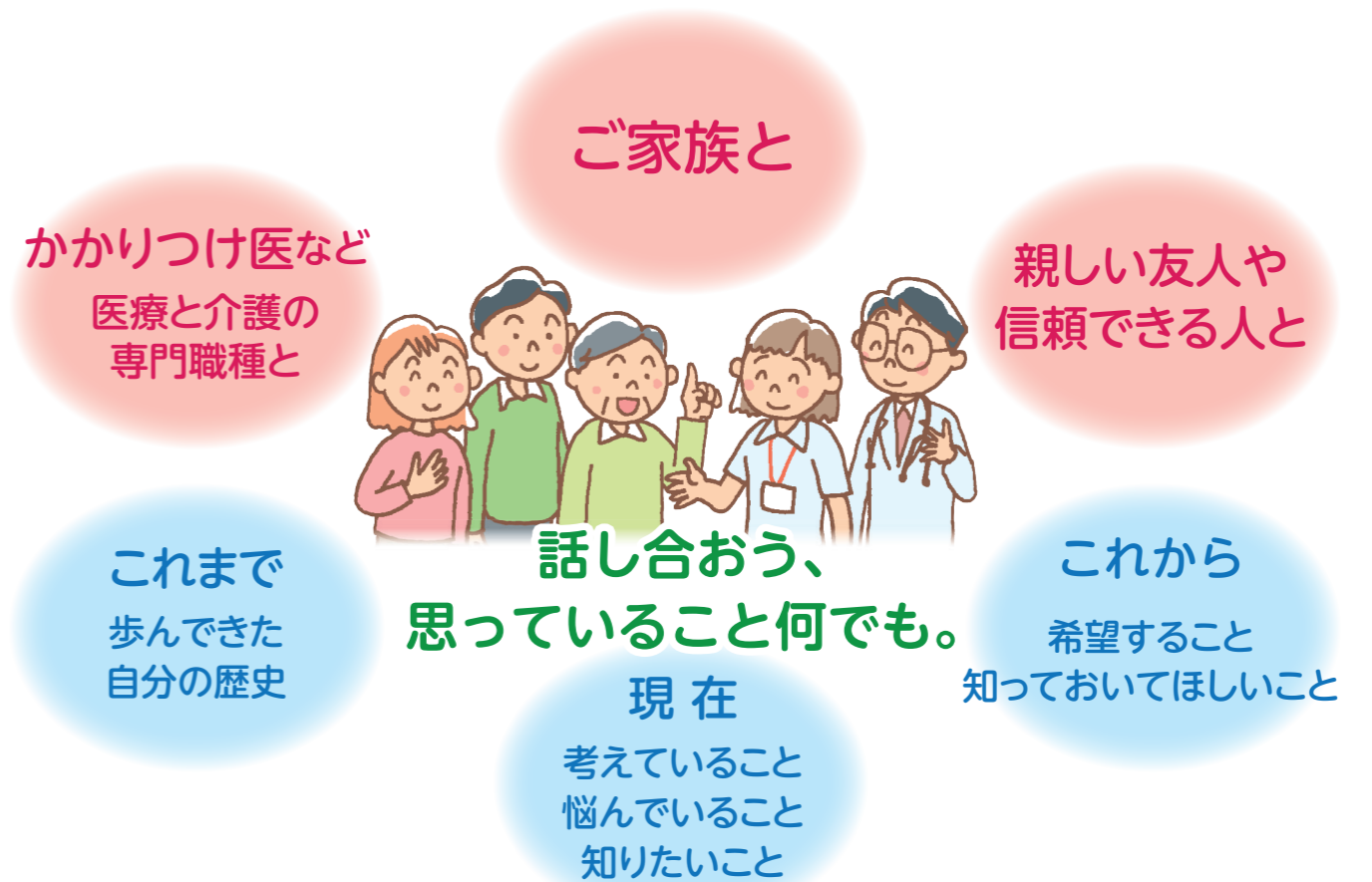
- 配偶者
- 子ども・孫
- その他の親しい人

どのような？

たとえば…

- 緩和ケア
- 延命治療
- 自然な経過で

●周囲の人たちと話し合うことで、想いが共有できます



本編32ページ版

詳しい内容については、ハンドブックに掲載しています。

☞ 配布場所などは裏表紙をご確認ください。

尼崎市在宅療養ハンドブックのご紹介

在宅療養ハンドブックは「おうちでの療養でホントに大丈夫？」そんな心配にお答えする冊子です。

「おうちで暮らし続けたい」という希望が実現可能な案として理解され、選択肢の一つとして考えていただけたらという願いを込めて作成しました。

この概要版よりも詳しい情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。



●配付場所について

- ・医療機関（診療所・病院・歯科・薬局など）
- ・介護事業所（居宅介護支援事業所など）
- ・シニア情報ステーション
- ・お住まいの地区を担当する地域包括支援センター
- ・尼崎市役所包括支援担当（課）（本庁北館3階）
- ・南部、北部保健福祉センター など



シニア情報ステーション

●PDF版について

尼崎市ホームページ「 情報を探す」から検索

尼崎市在宅療養ハンドブック

検索

または

1009199

表示



PDF版はこちら

お問い合わせ先

尼崎市役所 包括支援担当課（尼崎市医療・介護連携協議会 事務局）

電話：06-6489-6356 FAX：06-6489-6528